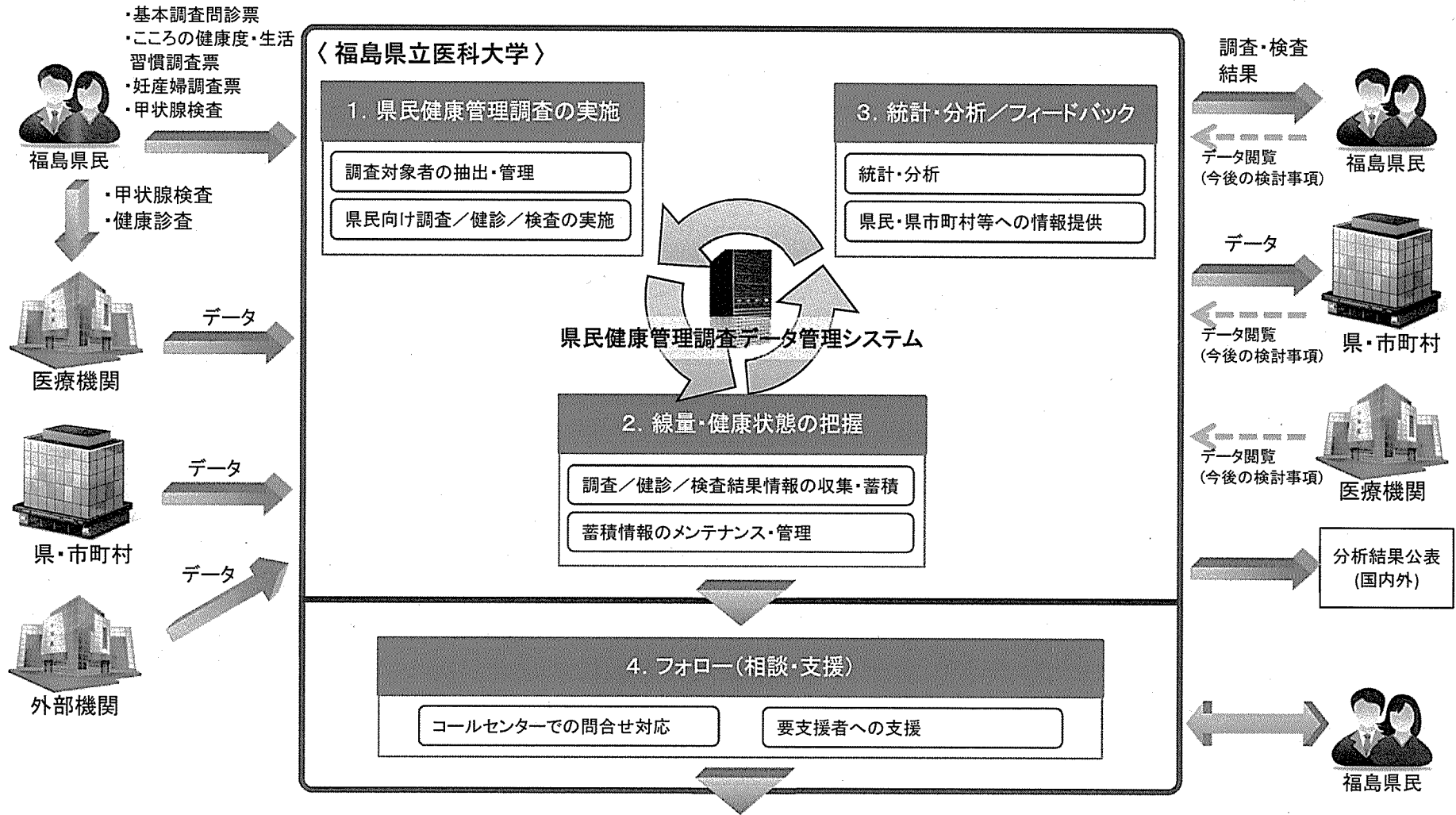


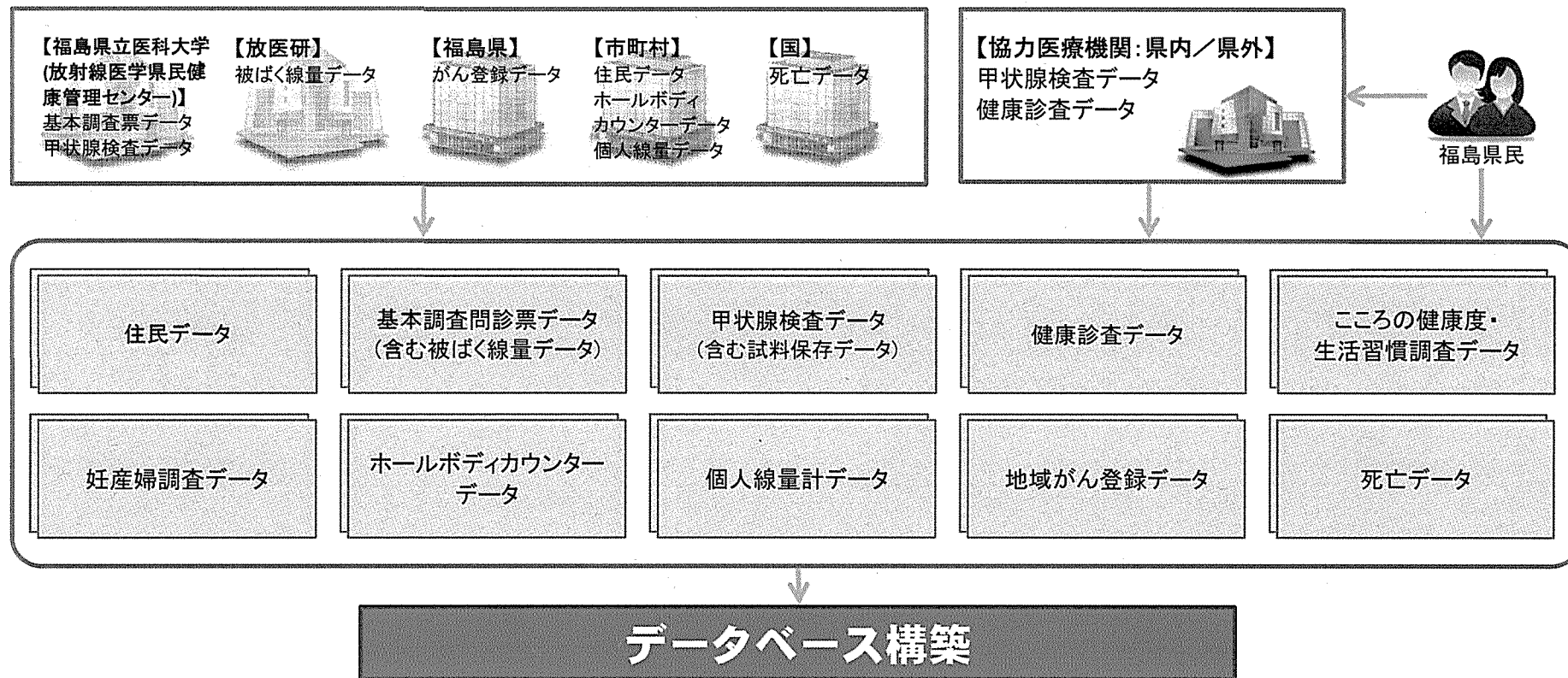
「県民健康管理調査データ管理システム」の目的



- ・ 県民の長期にわたる健康管理に活用
- ・ 健康管理を通して得られた知見を次世代に活用

「県民健康管理調査データ管理システム」構築に係る基本的な考え方

- (1) 本システムは、5年や10年という短期間のものでなく、長期間に渡り運用するものであるため、IT技術の進歩に対応しながら、より適切かつ安全で、効率的・効果的な運用が継続できるシステムであること。
- (2) 放射線に関する今後の技術進歩、医療技術の進歩、急速に進む少子高齢化や生活習慣病の増加による疾病構造の変化等により多様化する医療需要や医療制度の変化に柔軟に対応できるよう、可変性の高いシステムとすること。
- (3) オープン化(特定事業者のみの技術によらないもの)された標準的手法や標準化された製品・ツール等を用い、機能拡張性及び保守性の高いシステムとすること。
- (4) 将来、県民、医療機関等、データ閲覧者を拡張する機能が必要となった場合に、柔軟に対応可能なシステムであること。
- (5) 本システムの導入については、厚生労働省が示す「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン(第4.1版)」を遵守し、万全のセキュリティ対策を実施すること。



「県民健康管理調査データ管理システム」概要

